子ども読書のまち・防府

第 15 号

令和 8 年 10 月 1 日　防府市子ども読書フェスティバル実行委員会発行

防府市制施行 90 周年記念

第15回 防府市子ども読書フェスティバル 報告

今年度は、「開けてみよう！おはなしの扉を」をテーマに、令和 8 年 5 月 31 日（日）ルルサス防府２階多目的ホールと防府市立防府図書館を会場に開催しました。以下はその報告です。

トークイベント & 読み聞かせ

児童文学作家　富安（とみやす）　陽子（ようこ）

本は不思議の扉





『まゆとかっぱ』の魅力を語る富安陽子さん

今回お招きした富安陽子さんは、「児童文学界のノーベル賞」とも言われる「国際アンデルセン賞作家賞」の日本代表に 2 回も選ばれた、まさに日本を代表する児童文学作家さんです。高校生の頃書いた作品がデビューのきっかけになったこと、『やまんば山のモッコたち』（福音館書店）から生まれた「やまんばのむすめ まゆのおはなし」シリーズ（降矢なな/絵）の絵本の魅力、その最新作『まゆとそらとぶくも』の紹介。発売前の『かげぞう』（福音館書店こどものとも年中向き 8 月号）の読み聞かせなど、子供から大人まで富安ワールドを楽しみました。絵本「オニのサラリーマン」シリーズ、「菜の子先生」シリーズ（福音館書店）や「妖怪一家九十九さん」シリーズ（理論社）など防府図書館には 160 冊以上も富安陽子さんの作品があるので、ぜひ読んでみてください。参加者は 68 人（子ども 8 人、大人 60 人）でした。



サイン会

トークイベントの後のサイン会では、富安陽子さんが、にこやかに言葉を交わしながら、一人ずつにサインを書かれました。作家さんから直接聞いた物語作りのお話とともに特別な一冊となったことでしょう。発売されたばかりの『まゆとそらとぶくも』や『まゆとごちそう 春夏秋冬』が人気でした。

オープニング演奏会！

防府アスピラート児童合唱団“Fanfare”

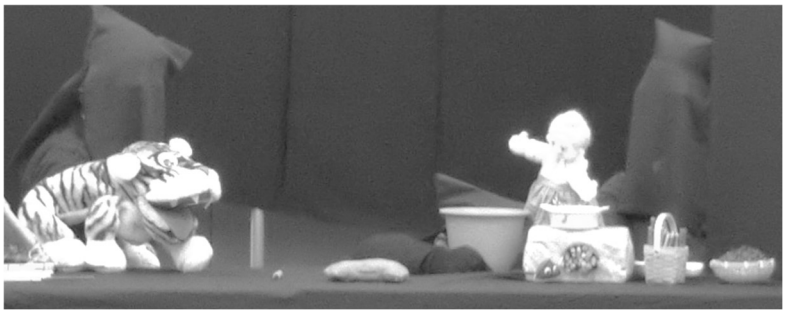




山口県ゆかりの詩人・金子みすゞやまどみちをの詩を朗読や美しい歌声で披露。ディズニーメドレーも盛り上がりました。中でも「図書館で会いましょう」の曲はまさに図書館のテーマソング。楽譜は図書館にありますので、ぜひご利用ください。

スペシャルおはなし会！

人形劇『あずきがゆばあさんと とら』　出演：ぶどうの木文庫



主に山口市で活動している「ぶどうの木文庫」による人形劇が上演されました。ばあさんの作る「あずきがゆ」にひかれて動物たちや思いもかけない物たちがやってきて、最後はみんなでとらをやっつけて、めでたしめでたし。幼児はもちろん、小・中学生から大人まで、ユーモアたっぷりの語り口や昔話特有の繰り返しに笑いころげました。

マジックカードを作ろう！

図書館ボランティア「まーぶる」・ 図書館クラブ





防府図書館では、子どもから大人まで参加できるワークショップが行われました。準備された２枚のカードを組み合わせ、貼り合わせると完成。カードを開閉すると、柵の中にいた動物が逃げ出してしまう不思議なカードができあがりました。昨年に引き続き、指導は図書館ボランティア「まーぶる」と、中学生の「図書館クラブ」が担当しました。わかりやすく丁寧な説明を心がけ、参加者に大好評でした。

展示「ことばのブランコであそぼ」

布絵本「結う」

工藤直子さんの詩集の中から、子どもたちに紹介したい詩を、刺繍やパッチワーク、フェルトなどを使って個性豊かな作品にしました。図書館には「結う」の皆さんの作られた素敵な布絵本がたくさんありますので、ぜひ利用してください。



絵本のおたのしみ袋



図書館で活動する子どもの本に関係するサークルと図書館員による選書でお楽しみ袋を作りました。年齢別で選びやすくなっていました。日頃とはちがう絵本との出会いが、子どもたちの世界を広げてくれました。

あいさつ

「子ども読書フェスティバル」は、子どもたちと本との素敵な出会いを願って、毎年開催しています。今年お迎えした富安陽子さんは、絵本や小学生向きのお話はもちろん、ティーンズ小説や大人向けのエッセーまでたくさんの作品を書いておられます。富安陽子さんの作品が、皆さんのおはなしの扉を開くきっかけになればと願っております。

防府市子ども読書フェスティバル実行委員長　松本直江